

誰か私の名付け親になってください。
機関紙の題名募集中！ 連絡先は右記、9/1まで

創刊号

発行 秦野パサデナ友好協会

事務局 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
(秦野市 市民自治振興課内)

TEL 0463(82)5118 FAX 0463(82)6793

E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp

決定！公式訪問団

10月23日(火)
~10月29日(月)

中村副市長、佐野会長ほか21名

昨年4月のパサデナ市長夫妻をはじめとした13名の訪問団の秦野市訪問に対する答礼、また、秦野・パサデナ両市長により取り交わされた青少年交流促進についての合意書の趣旨を踏まえた交流の第一歩として、10月23日(火)から29日(月)まで、秦野市から公式訪問団がパサデナ市を訪問することになりました。訪問団員を募集したところ、一般14名の応募があり全員決定となりました。青少年については、定員4名を大きく上回る14名の応募があり、「全員パサデナに連れて行ってあげたい」と友好協会役員の誰もが思いましたが、予算などの理由から、2名定員を増やし、公開抽選をし、中学生4名、高校生2名となりました。

団員の一人中学3年の村上優君は「海外旅行は初めて、特にホームステイが楽しみ。多くのパサデナの人とふれ合いたい」と語っています。

6月30日(土)には、第1回説明会が行われました。佐野美三雄秦野パサデナ友好協会会長のあいさつの後、団員の自己紹介があり、それぞれが抱負を語りました。

また、今回は公式訪問とあって、パサデナ市の皆さんと有意義な実りのある交流にするために、一人ひとりが企画に参加し、手作りの訪問にしようということになり、お土産等を作成する「土産等企画委員会」、青少年交流の企画や余興を企画する「交流企画委員会」、旅のしおりや報告書の作成をする「冊子等作成委員会」に団員がそれぞれ所属し、今後の交流計画について活発な意見交換が行われました。

7月16日(月)には、青少年に対する研修が実施され、親善訪問団員としての心得やホームステイ時のマナーなどについて学びました。青少年はこれから何回か英語によるパフォーマンス研修などを受ける予定です。



心はパサデナ気分！...ただいま研修中

運を天に任せたが... ~最終決定は抽選で~

会場は静まり返っていた。6月9日(土)の抽選会。青少年枠6名に14名が応募し激戦だ。

1人2回クジを引く。1回目は本抽選の順番を決め、2回目は本抽選。私も代理でクジを引いた。緊張と重圧。安堵とため息。クジは容赦なく当落を決めてゆく。

抽選にもれた君たちにも、また次のチャンスがある。またの応募を待ってるよ！

河口 博子

第4回 公式訪問団員

(一般の部)

草山 晃 長島 節子
田中 裕子 相原 勝彦
小島 英之 河口 博子
野呂 香 佐野美三雄
野呂 昌子 望月 國男
山谷 秀樹 玉川 澄江
山谷 洋子 飯塚 義一

(青少年の部)

石井さくら
北村あかね
田中 廉乃
益子 澄香
村上 優
恩地 飛斗

(敬称略、順不同)

総 会

4月17日(火) 開催

会長に佐野美三雄氏、新たに8名が役員に

2007年度 役員決まる

[会 長] 佐野 美三雄	[常任理事会計] 山口 勝 河口 博子	[顧 問] 飯塚 義一 福住 博一 内藤 優
[副会長] 前島 繁伸 望月 國男 真壁 英明	[監 事] 藤野 誠 荒川 宏文	[常任理事] 青木 寿男 小島 英之 込山 弘行 佐野 哲太郎 鈴木 泰雄 関野 道弘 川口 薫 野呂 香 生方 美奈子 松野 和子 蔵本 ふじ子 (敬称略)
[常 任 理 事] 玉川 澄江 (事務局長)	[名誉会長] 府川 泰道	

パサデナとの懸け橋になりたい 新役員のメッセージ

- 関野道弘 市民の皆様方に姉妹都市交流の理解と促進そして持続性をアピールし、国際理解と国際協力に努めていきます。
- 川口 薫 パサデナ市との交流は、私にとってまだ未知の部分がありますが、この機会に、私自身の得意な部分の少年スポーツ分野などから活動の輪を広げられたらと思っています。
- 松野和子 パサデナ市民の来秦時には通訳ボランティアとして参加し、改めて“心の触れ合い”の素晴らしさを実感しています。両市の懸け橋になるようがんばりたいと思います。
- 河口博子 飯塚義一顧問を師匠と仰いでいます。日米両国に通用するエンターテイナーをめざします。
- 山口 勝 これまでの教育行政における友好経験を生かし、パサデナ市との友好の絆をより深める一助となるようがんばります。
- 野呂 香 長い間、育まれてきた両市の友好の深い絆と精神をより多くの人々と共有し、次の世代に引き継いでいくようにがんばります。
- 生方美奈子 今までの交流活動を生かし、パサデナ市と秦野市をつなぐ懸け橋になるよう、がんばります。
- 蔵本ふじ子 盆地の空の下に住む人々も、広い空の下パサデナ市に暮らす人々も皆同じ人々・・・を実感したい、伝えたい!

事業案件

パサデナ親善訪問団の派遣に関する案件や今年度は特に青少年交流に重きを置き、少年野球チームのパサデナ市派遣、民間団体が実施する国際交流事業への参加及び協力などを検討していきます。また、広報活動を通じ会員とのパイプ役に努めていく方針などが示されました。

Q1 パサデナ市とのかかわりのきっかけをお聞かせください。

- 内藤 昭和53年第1回民間友好親善団の一員として訪問し、古谷市長が28歳で市議会議員に当選したときでした。府川泰道名誉会長が当時市議会の議長をしていたので、団長をお願いしました。
- 当時、長洲県知事が民際外交を提唱していたので、私たちの訪問は大変意義深いものでありました。
- 佐野 「パサデナ市に留学して英語を勉強し、両市の親善を深めたい」。これが私の娘の希望でした。その受入れをお願いするために、昭和56年に栗原市長を団長とする第1回公式訪問団の団員として参加したのが私の交流の始まりでした。パサデナ市関係者の理解と協力を得て娘は1年間の勉強を終えることができました。



佐野新会長

Q2 会長を退くに当たり、感慨深いものがあると思いますが。

- 内藤 8年間会長を務めさせていただきましたが、私の努力不足で協会の会員を増やすことができませんでした。もう少しPRに力を入れたらよかったかもしれません。会員がもう少し多かったら、違った活動もできたかもしれません。

内藤前会長から一言

青少年を育ててください

バトンタッチ

他団体との共催型の交流活動を

佐野新会長の抱負

Q3 佐野会長の抱負などをお聞かせください。

- 佐野 姉妹都市を締結して40余年になりますが、今までは先輩関係者の努力で友好を深めることができました。これは大きな成果も意味もありましたが、今回青少年が参加することは更に意義が深まると思います。これからは市民団体と手を結び合って情報を共有化し、交流の広さを求めていきたいと思っています。



内藤前会長

Q4 最後に会員に一言お願いします。

- 内藤 今年度から若い人たちに役員になっていただいたので、活動の活性化を図ることができると 생각합니다。会員だけではなく、今までパサデナ市訪問団が来秦されたときの事務局、通訳ボランティア、ホストファミリーをはじめ多くの市民の善意、協力、お心遣いに心から感謝しています。
- これからは若い青少年を育てることが大切だと思います。私は今、ボーイスカウトの活動を手伝っていますが、彼らをパサデナ市に派遣することが、私の夢です。
- 佐野 まず、協会自身ももっと力をつけなければならないと思います。それには、協会内部のコミュニケーションと他団体との交流を深めることが大切です。そして、一つの目的に向かって共に努力していきたいと思っていますので、どうぞご支援、ご協力をお願いいたします。

パサデナよりお祝いメッセージ



Message to the Citizens and
Members of the Friendship Association of Hadano
From: Janice Goad, President
Pasadena Sister City Program

It is my pleasure to write these few words on behalf of the members of the Pasadena Sister City Association. During our visit to Hadano in 2006, the Mayor of the City of Pasadena and the members of our delegation, pledged to pursue our mutual goal of expanding the relationship between the cities of Hadano, Japan and Pasadena, Texas. In order to accomplish this, we need to look to the future by encouraging the young people of our communities to take an active part in our Sister City and Friendship Associations.

We are extremely pleased and delighted to learn that six teenagers from Hadano will participate in the upcoming visit to Pasadena. We recognize that these young people represent the future of the Sister City affiliation between Hadano and Pasadena.

It is our goal to partner these six young people with teenagers from Pasadena during the delegations' visit to our City, with the hope that it will encourage the youth of the City of Pasadena to better understand the relationship and strong bond that has developed between our two cities over the years, and to want to become more knowledgeable of the purposes of Sister City relationships, and to reap both the cultural and educational benefits of this relationship.

Sincerely,
Janice Goad, President
Pasadena Sister City Program

秦野市民と友好協会の皆様へ

パサデナ姉妹都市協会会長 ジェニス ゴード

パサデナ姉妹都市協会を代表いたしまして、一言述べさせていただきます。

昨年、秦野市訪問の際、私たち(市長と派遣団)は両市のより深い交流を誓いました。このためには、両市の青少年がこの活動に積極的に参加されることが望まれます。

貴市から6人の中高生が秋のパサデナ訪問に参加されるとのこと、この上なく喜ばしいことと思います。両市が長年築いてきましたこの交流と固い絆をパサデナの子供たちが理解し、友好をよく知り、この友好からの文化・教育の業を得るだろうとの願いで、秦野からの6人の子供たちとパサデナの子供たちが互いに良きパートナーとなることを心より望んでおります。

"糸竹舎" 2度目のパサデナ訪問 邦楽演奏会で交流

秦パ交流記

シリーズ No.1

入国手続き今昔の巻

昭和五十三年ロスの空港にて

日の丸と富士山のバッジを胸に付けたひとりの我が団員が、仲間の団員と離れてひとり別の入国審査ラインに並んでいると突然審査官に呼ばれた。不安と恐怖の中、指示に従って行くと別室の裏ドアから通された。…どうも名のある日本代表団の一員と間違われたらしい。思わず安堵と共に笑みが…



現在のアメリカの空港では、ご存知、人も犬もハイテク機器も駆使し水をも漏らさぬ厳戒体制！

…笑っていいかしら？

参考資料「抜」『パサデナ物語』遠藤允著

編集後記

この通信が秦野パサデナ友好協会と多くの市民の皆さんとの懸け橋になって、姉妹都市交流が盛んになることを心から願っています。創刊号発行に際しご協力くださった多くの方々に感謝いたします。次号では公式訪問団の帰国報告などをいっぱいお知らせします。ご期待ください。ボランティア精神旺盛な事務局員10名が一丸となって力を合わせ頑張っています。

玉川 澄江

邦楽器を通じて青少年の育成や高齢者の心身を活性化させる指導など多方面にわたり活動している NPO 法人和楽器の会糸竹舎。

交流のきっかけは、以前*AETとしてパサデナ市から来秦し、各中学校で英語の指導に携わったルース先生が、糸竹舎の主宰者である西原先生のもとで琴を習ったことでした。

ルース先生の依頼でパサデナ市での第1回目の演奏会が2004年3月に実現し、そのとき使った6面の琴がパサデナ市に寄贈されました。

2007年3月2度目となる交流が2週間にわたり行われ、その交流の輪は近隣市ヒューストンへも広げることができました。参加した11名は演奏会以外でも更に親交を深めることができました。

* Assistant English Teacher の略



貴重な体験

相原綾乃

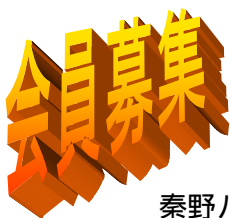
(法政女子高校1年)



邦楽の楽しさを伝える糸竹舎の皆さん

今回のパサデナ、ヒューストン訪問は私にとっては2回目となりました。3年前の1回目と比べ、パサデナの方々、特にスパークス小学校の方々、教育委員会の方々と過ごした時間は、とても懐かしく、1回目ときより心置きなく楽しく過ごすことができました。演奏を聞いていただくだけではなく、一日かけて一緒に練習をしたり、演奏できたことは私にとって大切な経験となりました。

また、今回は日米協会の方々の協力により、アメリカの高校生の家にホームステイをさせていただき、とても楽しい日々を過ごせました。今もメールをしたりと、お互いに色々な交流をしています。私たちがこのような素晴らしい経験ができたのも多くの方々の協力があったからこそと思い、とても感謝しています。私も、もっと英語を学び、更に深い交流ができるように努力したいと思いました。



異文化 異世代間交流を「平和」への想いも

秦野パサデナ友好協会では、随時会員を募集しています。あなたもパサデナ市との交流を楽しみませんか？もちろん、英語を話す絶好のチャンス。英語が苦手でもOKです。

あなたも会員になりませんか！

今年度新たに入会された岸本靖子さん(尾尻在住)は、抱負を次のように語っています。「協会の先輩方のご努力に感謝し、これからは、世界の人々が平和に暮らせることを大きな目標とし、息子と共に豊かな体験ができればと思っています。」

是非、事務局(1面記載)まで連絡を。